

# TOOLS



## ●ラン・マックス ブレーキパイプ フレアツール(バイス固定タイプ)



品番	使用パイプサイズ外径 約(φ)	価格
RT3601	3/16" (4.8)	¥18,000
RT3602	1/4" (6.4)	¥19,000

※使用するブレーキパイプ&フレアナットは P260を参照して下さい。  
 ※専用ケース付

J 刻印: ダブルフレア (主に国産車用 45°フレア)  
 E 刻印: コンベックス (主にヨーロッパ車用)



上記セットで2役!! 専用ケース付  
 国産車及びヨーロッパ車2種類の先端フレアに対応します。

### ■リペアパーツ ボンチ

品番	写真番号	パイプサイズ(φ)	価格
RT3601-1	①	3/16(4.8)	¥1,700
RT3601-2	②	3/16(4.8)	¥1,700
RT3601-3	③	3/16(4.8)	¥1,700

## 〔作業手順〕

**1** まずクランパー下部をパイプが入る位置(端の方)でバイスに固定します。

**2** ブレーキパイプの処理は右記作業手順の①~②と同じ要領で行ないます。下処理を済ませたブレーキパイプを下部穴より差し込みます。

**3** クランパー上部の穴にバーを落とし込みます。バー先端部は凹形状でパイプ止め位置のゲージとなっています。J:国産車 E:ヨーロッパ車 使い分けて下さい。

**4** 止め位置が決まれば仮締めした後クランパー側面の穴にバーを両面に差し、きつく締め付けパイプを固定します。

**5** ボンチ先端にオイルを配布してクランパー上部の穴にボンチ①を入れ小さい目のハンマーで少しずつ軽い力でたたきます。主にヨーロッパ車の場合はこれで完了です。

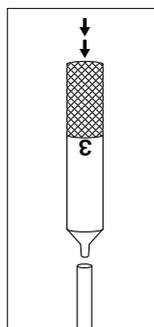
**6** さらに先程行った工程をボンチ②でたたきます。次にボンチ③の上部にストッパーガイド③をかぶせてさらにたたきます。主に国産車の場合はこれで完了です。

## 〔ハンドタイプ VS バイス固定タイプの特徴〕

### (バイス固定タイプの場合)

引き直し(一からの製作)など外した状態で作業出来るなら…。

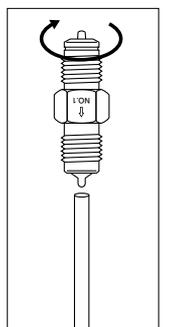
爪3点止めで挟むスペースも広く“ガッチリ”固定出来、パイプが多少曲がっていても少しずつ叩いて行くので徐々になじみ、均等なフレアが出来る。



### (ハンドタイプの場合)

配管の取り回しが複雑でブレーキパイプを外す事が出来なく、サビや漏れた部分など一部の補修交換用としてなら…。

構造上2点止めで、挟むスペースが少なくパイプが少しでも曲がっていると回転運動でフレアを出していく為、少しでも“ブレ”が生じると均等なフレアが出にくい。



# TOOLS



●ラン・マックス ブレーキパイプフレアツール(ハンドタイプ)  
 現車に付いた状態でブレーキパイプのサビた箇所の修復や引き直しなど固定したままフレア加工が出来るハンドタイプです。  
 又、コンベックス及びダブルフレアの2パターンに対し2種類の工具を使い分け、工具同士の部品自体を間違わないよう色分けをしています。

品番	使用パイプサイズ外径(φ)	部品点数(Pieces)	価格
RT3603	3/16" (4.8)	写真全品(8)	¥19,500

※専用ケース付

カラー：P46参照

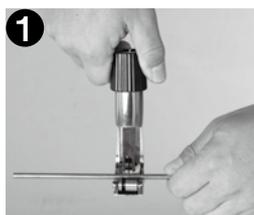
## 〔作業手順〕

### ■ダブルフレア (主に国産車の場合) スクリューポンチ 4種類の作業手順



ダブルフレア用スクリューポンチ刻印(ブラック色)

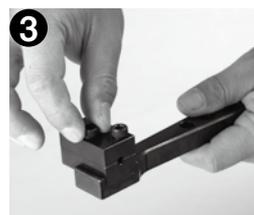
※使用するブレーキパイプ&フレアナットはP260を参照して下さい。  
 ※付属の丸いプラスチックケースに入った青いグリスはネジ部に時々塗布して下さい。



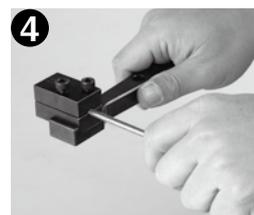
1 まず準備としてブレーキパイプを専用カッターP326を使用して垂直にカットします。



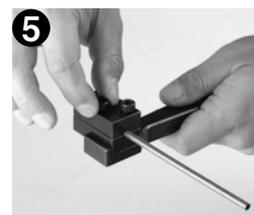
2 次にカットしたパイプの先端内側のバリを丸ヤスリ又はカッター付属の三角ヤスリ部分で取り除いて下さい。  
 ※この作業は必ず行なって下さい。



3 次にハンドルを手で持ちヘッド上部分のキャップボルト(M6)2箇所を緩めます。



4 次にヘッド横の穴へブレーキパイプ先端にオイルを塗布し挿入して下さい。  
 ※このオイル塗布作業は必ず行なって下さい。



5 次にヘッド上のキャップボルトを手で仮締めして下さい。



6 次にSTOP刻印のスクリューポンチを最初に使い、手でいっぱい迄(固くなるまで)締め込みます。



7 次にパイプ止め位置が決まった所で、キャップボルトを付属の六角レンチで本締めして下さい。



8 次に⑥の作業と同じ要領で刻印No.1、2、3の順番にもう一本のハンドル下六角部分でスクリューポンチをいっぱい迄締め込みます。



9 次に⑧の作業が完了した所で先程本締めしたキャップボルト2箇所を緩めブレーキパイプを取り出します。



10 後は不具合が無い目視して問題無ければ実車に取り付け、漏れなど無い確認して下さい。

### ■コンベックス(主にヨーロッパ車の場合) スクリューポンチ2種類の作業手順



コンベックス用スクリューポンチ刻印(シルバー色)

- 1 ダブルフレアタイプ↑上記の作業工程①～⑦と同じ要領でシルバーのヘッドハンドルとスクリューポンチで作業を行って下さい。
- 2 ダブルフレアタイプ↑上記の作業工程⑧はNo.1～3のスクリューポンチを順番に使用しましたがこの作業は左記写真No1スクリューポンチのみで完了です。
- 3 ダブルフレアタイプ↑上記の作業工程⑨と同じ要領で作業を行いこれで終了です。
- 4 後は不具合が無い目視して無ければ実車に取り付け、漏れなど無い確認して下さい。